

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時:令和7年6月26日(金)

13:40~14:25

場 所:飯南町立頓原小学校

対 象:6年生11名

指導者:担任1名

古代文化センター職員3名

1 主題 古代の人々の暮らしについて学ぼう

2 ねらい

- ・自分たちの地域の歴史・文化に対する興味・関心を高める。
- ・和同開珎の制作や実資料に触れる体験を通して、古代の人々の生活や技術に興味をもつ。

3 展開

時間	学習活動	指導者の支援	準備物
13:40~	挨拶 見通しをもつ	・講師の紹介。 ・学習の内容やねらいを説明する。	・新聞紙 ・和同開珎セット
13:45~	和同開珎を作ろう	・和同開珎の作り方について説明を聞く。 ・安全をよく聞き、安全に注意して活動できるよう促す。 ・冷ましている間に、和同開珎等について説明をする。 出土資料に触れる時間を設ける。質問があれば行う。	
14:20~	学習のまとめ	・心に残ったことを発表する。	

4 準備物

(小学校)新聞紙、机を3グループにする。(できるだけ高さを合わせる。)

(古代文化センター)和同開珎作りキット、出土遺物、カメラ、アンケート